

## Jシステム 復旧道路を 常に遠隔監視

ネットワークカメラクラウド事業のJシステム(金沢市)は5日までに、能登半島地震の被災地で復旧した道路の状況をリアルタイムで把握する遠隔監視サービスの提供を始めた。

広角カメラを仮復旧した道路などに設置し、映像をクラウドで管理する。発電機やバッテリーなども付け、余震で道路が崩れたりしないか常時確認できる。電波が届かない場所では衛星インターネットサービス「スターリンク」を活用。KDDI(a u)から提供された。

道路をクラウドで監視するシステム  
(Jシステム提供)



カメラは1月29日時点で県内14カ所に設置しており、今後は災害ごみの置き場などで盗難防止にも役立つ。後山潤一社長は「新たなサービスの利便性を周知し、全国で災害が起きた時に活用してもらいたい」と話した。